

### 令和5年度宮崎県歯科保健推進協議会実務者会議概要

#### 1 設置要領及び委員 別紙のとおり

#### 2 開催日時及び場所

第一回 令和5年6月30日（金）午後3時から午後5時まで

県庁防災庁舎2階プレスルーム

第二回 令和5年8月30日（火）午後4時から午後5時30分まで

県庁防災庁舎7階72号室

#### 3 主な内容

##### 第一回

##### ① 「第3期宮崎県歯科保健推進計画」の構成について

- ・がん等に限定せず、医科歯科連携が大切なことを広く記載してほしい。
- ・口腔機能の獲得・維持・向上は、高齢期だけでなく乳幼児期にも記載が欲しい。

##### ② 「第2期宮崎県歯科保健推進計画」の達成度評価について

##### <学齢期>

- ・小学校・中学校のフッ化物洗口は目標を達成しており、この数字をさらに上げる必要がある。

##### <成人期>

- ・歯科健診を実施する事業者の割合は微増。さらに上げる必要がある。

##### <高齢期>

- ・介護予防事業では「口腔」の事業をほとんど見かけない。今後の頑張りが必要。

##### <支援が必要な方への歯科保健医療の推進>

- ・関係者の努力により障がい児の歯と口の状態はかなり良い。維持することが大切。

##### <医科歯科連携を推進するために必要な体制整備>

- ・「周術期口腔機能管理計画策定料」は医科の協力があって成り立っている。
- ・国でかかりつけ医が進められているが、かかりつけ医から歯科受診を促すような働きかけも大切。

##### 第二回 指標項目、目標値について検討

##### <学齢期>

国の目標「12歳でう蝕のない者の割合が90%以上の都道府県数」

県内で90%以上の市町村数はない。80%以上であれば目指せるのではないか。

市町村の健康格差は大きく課題であり(12歳児一人平均むし歯数0.20本から2.58本)、何か指標があった方がよい。

⇒「12歳でう蝕のない者の割合が80%以上の市町村数」

##### <成人期>

国「法定で定められている歯科健診を除く歯科検診を実施している市町村の割合」

ほぼ達成しており、次の段階として、受診率を上げるにはどうか。

現状値が出せないか。

##### <医科歯科連携を推進するために必要な体制の整備>

- ・医科歯科連携ができていない病院を増やす

追加の指標項目。県歯科医師会が調査した病院アンケートで直近値が64.4%。

重要であり80%を目指したい。